

一般質問

12月6日



自由民主クラブ

さ さ き だい すけ
佐々木 大介

Q 29年度予算編成方針について

A 事業の重点化・効率化等を図る

問 ①予算編成にあたり、今年度はどのような事業の見直しを行ってきたのか、また、来年度はどのような事業について見直しの検討を行っているのか伺います ②来年度の新たな取り組みとして、職員のパワーや庁内連携等を前提としたゼロ予算事業の推進が盛り込まれています、具体的なにはどのような取り組みを考えているのか伺います。

答 ①今年度は証明書のコンビニ交付事業への切り替え

や、し尿処理業務の外部委託など将来の投資コスト抑制のため個々の事業について見直しを進めてきたところで、

Q 国民健康保険制度の引上げと制度改革の継続推進が必要

問 ①昨年、医療保険制度改革法案が成立し、平成30年度から国民健康保険制度はこれまでの市町村単位から都道府県単位へ変わることになります、11月に道が公表した国保事業給付納付金の仮算定結果について市はどのように受け止めていますか ②都道府県化にあたり、本市が抱える累積赤字をどのように取り扱っていくのか考えを伺います。

答 ①仮算定による本市の状況は、1人当たりの保険

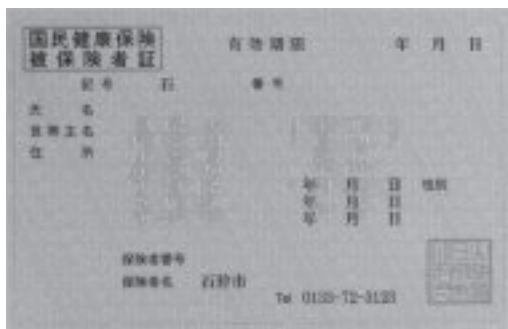
新年度でもこの視点を持って編成作業を進めていきたいと考えています ②ゼロ予算事業は財政ヒアリングを通して市民や団体との協働事業等でこうした手法を取り入れることができるケースが多々あり、今後も職員の創意工夫や企業団体との連携などによる取り組みを推進していきたいと思えます。(財政部)

料は下がる結果となりましたが、現行の保険料水準では道に支払うべき納付金額を確保できない状況が想定されます ②道が今後策定する国保運営方針では、市町村の実情に応じた赤字解消策の検討と目標年次の設定を市町村に求める考え方が示されていますが、本市累積赤字は平成27年度で約6億6千万円となっており、早期解消は困難なことから、都道府県化後も原則一般会計からの補てんを基本

Q 石狩市空家等対策計画について

A 協議会の同意を得て12月中に決定

問 ①全国で増加傾向にある空き家の対策が喫緊の課題となる中、現在、本市は空家対策計画の策定に取り組んでいますが、市内の空き家の現状はどうなっていますか ②平成27年度より実施してきた空家活用制度について、これまでの実績



▲国民健康保険被保険者証

として計画的・段階的な解消を進める必要があると考えています。(保健福祉部)

とどのような効果があったと認識しているか伺います。
答 ①平成26年度と27年度に職員による市内全域対象の空家対策外観調査を実施し、27年1月1日現在で557件、28年1月1日現在で前年比66件増の623件の空き家を把握しています ②本制度の昨年度の交付件数は10件、交付金額合計は5百万円、今年度は11月末現在で交付決定件数は21件、金額合計は950万円となっています。また、市外からの利用が5割を超え、利用者の約8割が地元事業者によるリフォーム工事を併せて実施するなど、空き家の解消はもとより、人口増加や市内経済の活性化にも一定程度寄与していると考えています。(建設水道部)

その他の質問

■東京五輪に向けた本市の取り組みについて
■大規模集客施設の誘致について